

2021 年度 アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、「アスベスト問題に係る総合対策」（「アスベスト問題に関する関係閣僚による会合」決定）に基づき、アスベスト大気汚染の状況を把握し、今後のアスベスト飛散防止対策の検討にあたっての基礎資料とするとともに、国民に対し情報提供するために 2005 年度より毎年度実施している調査の 2021 年度の結果を公表しました。本調査は 2022 年度も行われる予定です。

○調査地点・調査方法

全国 42 地点で調査が行われました。内訳は以下の通りです。また、試料の採取及び分析は「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.1 版)」(平成 29 年 7 月 環境省水・大気環境局大気環境課)に基づいて行われました。

- ・環境省が 2005 年度から継続して調査を実施している 34 地点
- ・2021 年度に地方公共団体から推薦のあった解体現場等の 8 地点
(解体現場においては、飛散・漏えい確認のため、集じん排気装置出口等においても調査)

○調査結果

各地点におけるアスベスト及びその他繊維を含む総繊維濃度の幾何平均値、総繊維濃度が 1 本/L を超過した試料のアスベスト分析結果及び超過地点での対応は以下の通りです。

ア 解体現場などを含む発生源周辺地域(21 地点)

- (1) 幾何平均値:0.13~0.31 本/L
- (2) 総繊維濃度数 1 本/L を超過した試料のアスベスト濃度分析結果と超過地点での対応
 - ・「旧石綿製品製造事業」(2 試料中 1 試料超過)
これまでも超過があったため、調査継続
 - ・「解体現場(施行区画周辺)」(3 試料中 1 試料超過)
 - ・「解体現場(集じん排気装置出口)」(4 試料中 2 試料超過)
自治体から事業者への調査結果提供・指導
 - ・「破碎施設」(3 試料中 1 試料超過)

事業者に対して、廃棄物受入時に石綿含有廃棄物の有無を的確に確認することや、散水による粉じんの飛散防止の指導

イ 発生源の影響を受けない住宅地域等のバックグラウンド地域(21 地点)

- (1) 幾何平均値:0.13~0.36 本/L
- (2) 総繊維濃度数 1 本/L を超過した試料のアスベスト濃度分析結果
 - ・全 4 試料のアスベスト繊維濃度は全て下限値未満

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気において A ランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2022 年 10 月 14 日付 環境省報道発表資料](#)

環境リスク分析箇所 佐々木泰河